

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	一般社団法人リバーバンク
役職	
氏名	鈴木秀典
着任日	令和5年10月1日

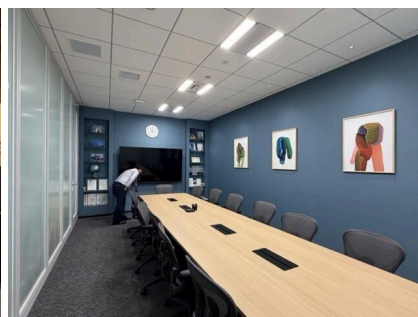
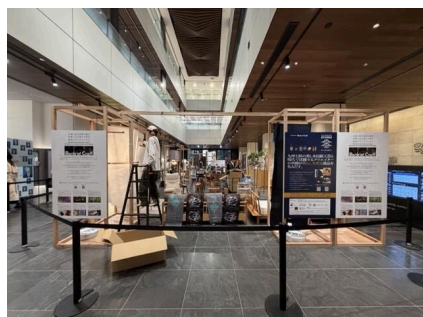
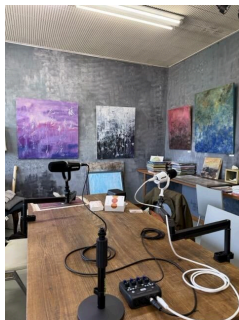
活動月	令和8年2月(着任2年5ヶ月)
主な活動	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度に向けた時時の活用mtg ・まちゼミへの参加 ・シンポジウム手伝い

・来年度に向けた時時の活用mtg

今月は、来年度に向けた時時の活用を考える月となりました。武家屋敷通りと、県道23号線との関係性を大きく捉えながら、今後どういう展示をしていくべきか、どう発信することが街のためになるのか。小さなお店でできる役割をつなげていくことが、知覧の可能性を大きくなると信じ、文化を発信していけるようにしていきたいと思います。

その一つとして、ポッドキャストを取り入れ、街の声や人伝に残っている情報を撮り溜め、地域内外に発信していきたいと思います。共同店主の吉海さんとともに、できる範囲で盛り上げていきたいと思っています。

福岡出張時に参考になる場所を訪れた記録も添付しておきます。



・まちゼミへの参加

協力隊の二宮さんからお声がけいただき、まちゼミに参加してきました。川辺の商店街を中心に、自分たちの専門性を開いていくというまちゼミ。今後の発展のさせ方を一緒に議論していける場を作っていただけて、とても楽しい企画となっています。



地域おこし協力隊活動報告書

・シンポジウム手伝い

南さつま市で行われたシンポジウムの手伝いとして司会進行をさせていただきました。
地域の特産品をどうPRしていくか、そして参加者の人たちはどうしていきたいか。という点でとても興味深い議論が起きていました。



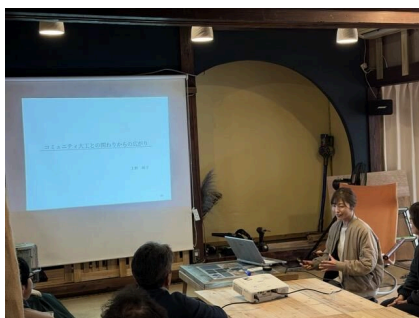
・番外編

○CONNE

・コミュニティ大工体験

コミュニティ大工、加藤潤さんの取り組み方を体験してみるwsを行いました。今回は断熱材を入れながら行うdiy方法を軸に体験していただき、さらに参加者同士のつながり作りも重視したプログラムとなっていました。

潤さんのwsを行うたびに感じる、皆でご飯を食べ、一緒に作業をするから生まれる一体感は毎回すごい！！と思うので、人が集まる場をこのように設計していけたらと思いつながりながら学ばせていただきました。



・川辺のエリアマップ作成

詮議の会のみなさんと議論させていただいた川辺でのエリアマップ作成。

30名を超える方々と、川辺の街がどういう街になっていくことが望ましいのかという点で、言葉だけではなくエリア(空間)とセットで考えていきました。

みなさんから近い意見が出るの中で、文化・伝統の残し方についても熱く議論が行われ、また商店街と国道の関係性であったり、空き家というコンテンツを軸に街に広がって議論ができたことは今後につながっていくと感じました。

